

 DLM アルミサイドケース [DLMK36A/B]	適応商品	商品NO.
	PLO_MK/PLOR_MK, PL/PLR フィッティングステー専用	26014 : アルミ 26016 : ブラック

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※本商品のご使用前に最終項に記載の URL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。




※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社および GMI 社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書と英語説明書も併せてお渡しください。



本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

**警告** 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。



**注意** 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

	禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		その他の警告及び注意を告げるものです。
---	---------------------	---	-------------------------	---	---------------------

**警告**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品は GIVI PLO_MK/PLOR_MK/PL/PLR パニアホルダー（別売り）専用です。また PL-CAM、PLX/PLXR などの GIVI パニアホルダー（別売り）、T/TE などの GIVI サイドバッグサポートには取り付けできません。また、GIVI 社指定以外の懸架ステーには使用しないでください。</li> <li>本商品に曲げ・切削・溶接などの加工は行なわないでください。商品の破損だけでなく、車両側の破損や重大な事故につながる恐れがあります。</li> <li>本商品の指定最大積載重量（1 サイドケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）は 10kg です。ケースやパニアホルダーの指定を超える総重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。</li> <li>ケース本体やケース上蓋の脱着が困難な場合、クイックファスナー部やパニアホルダーのはめあい部分、ヒンジ部に無理な力を加えないでください。変形や破損など不具合の原因となります。</li> <li>本商品をつかんでメインスタンド掛けや車両の取り回しはお止めください。破損や変形、脱落など不具合の原因となります。</li> <li>法定速度を必ず遵守してください。また 100km/h を超える状態での走行使用は、操舵性の変化や破損や脱落など不具合や事故・損害の原因となる恐れがあります。</li> <li>オフロードなど悪路で使用しないでください。破損や脱落など不具合や事故、第三者への損害の原因となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業を行なってください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や部品を損傷したり、不具合が発生する場合があります。</li> <li>走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。</li> </ul>

**注意**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッケージ開梱時や商品取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起、バリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際や洗車を行なう際は必ず保護手袋などを使用し、ケガには十分に注意して作業を行なってください。</li> <li>本商品を開梱の際は、構成部品や外観の不具合、異常がないことを必ずご確認ください。万一お気付きの点がありましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。</li> <li>商品付属ねじの規定トルクは M6 : 10N・m です。ねじ緩み止め剤の併用をオススメします。純正部品につきましては必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、各部規定トルクで確実に締め付けてください。</li> <li>作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させた上で行なってください。</li> <li>ケースの蓋を開ける際は、所定の制御範囲を超えてヒンジ部に無理な力が掛かるまで上蓋を最大開口させないでください。変形や破損など不具合の原因となります。</li> <li>ケースの蓋を閉める際やロックして走行使用する際は、荷物が蓋に挟まれていないことを必ず確認してください。</li> <li>本商品を装着および荷物を積載した場合はハンドリングやブレーキ性能などが変化します。操作になれるまでは十分に注意して運転を行なってください。</li> <li>ケース背面上側のはめあい部分やクイックリリース部に、車両が巻き上げた雨水や泥などの異物が混入する場合があります。定期的に内部清掃や稼働部への注油のメンテナンスを行なってください。</li> <li>取り付け後約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備してください。その後は約 500km 毎に必ず点検整備を行ない、各部に異常がないか確認し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。また商品保証は、本商品のみ対象となります。</li> <li>素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。表面の汚れやキズ、歪み、蓋のはめあい具合、パニアホルダーへの組付フィット感など、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。</li> <li>本商品は素材にアルミと樹脂を使用した商品になります。ご使用の環境や経年変化、使用損耗により素材劣化（サビ含む）が、どうしても早期から進行する場合があります。これらの要因により発生した素材劣化や不具合、事故損害につきましては、当社では一切の責任を負いかねます。</li> <li>本商品のアルミ素材には、素材独自の風合いを活かすために表面処理を行なっておりません。こまめにメンテナンスを行なってください。</li> <li>本商品は防滴性を考慮した設計で、完全防水ではありません。また収納する内容物の傷付きを保護する目的の商品ではありません。ケース内容物の防水やキズ、破損の対策はお客様の責任において実施してください。</li> </ul> <p>※特に本商品は金属製ケースのため、樹脂製ケースよりも内容物のキズが付きやすくなります。</p>



その他

- ・ケース自体は施錠できますが、盗難を完全に防止することはできません。車両を離れる際はケース内に貴重品を入れたままにしない、ケースを取り外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。
- ・ご使用環境やご使用状況によってはケース内部が高温になる場合があります。ご注意ください。
- ・転倒履歴がある車両には取り付けできない場合がございます。
- ・別途付加された純正アクセサリ類や他社製品、加工部品などとの組み合わせは未確認です。
- ・本商品を取り付けた場合に車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く可能性があります。また荷物の積みおろしや GIVI 社製のフィッティング類の脱着を繰り返すと本商品がキズなどのダメージを負う可能性があります。
- ・商品にガソリンやブレーキフルード、アセトン、シンナーなどの有機溶剤や化学物質を付着させないでください。小キズや曇り、素材表層の変質や変色などの原因となります。万が一付着した場合は直ちに水で洗い流してください。
- ・本商品を洗浄やふき取りする際は、研磨剤入りの磨き剤や目が粗い織布は使用しないでください。小キズや曇り、素材表層の変質や変色などの原因となります。
- ・本商品は予告無しに価格や仕様の変更をする場合がございます。また文中にご紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

## 本商品の特長

- ・世界中のアドベンチャーツアーの熱い要望から生まれた DLM アルミモノキーサイドケース。1.5mm 厚のアルミ板をメイン素材とした堅牢な造りとなっています。トップシェルにはグリップとストラップ留め具を設けています。各接合部にはコーキング処理を施しています。(リベット部 O リング仕様)。セキュリティロックキー標準装備。
- ・従来の GIVI PL/PLR/PLO/R バニアホルダー(別売り)専用品。指定最大積載重量(1 ケースに収容可能な内容物の MAX 総重量)は 10kg。
- ・ワイヤーリリース機構とホールドイットイージー機構を採用。ノブを回転させボックス上部のフックを外すことで斜めにボックスを開けることができます。大型トップケース同時装着時のサイドケース上蓋開閉の接触不安を取り除きます。

**WIRELEASE**  
SYSTEM

**HOLDITEASY**  
SYSTEM



※商品の詳細や最新情報は GIVI 専用ホームページ「<https://givi-jp.com>」にて、ご確認ください。

## 商品内容

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	DLMK サイドケース (左右)	※1	各 1	⑦	スペーサー (PL/PLR用)	M6×10× t3	4
②	スペアシリンダー	※2	1	⑧	防振ゴム (PL/PLR用)	高さ 8	4
③	セキュリティロックキー	※3	2	⑨	ワッシャ (PL/PLR用)	Φ6×Φ11.5× t1.5	4
④	ホールドイットイージーシステム		2	※1.奥行 248×幅 586×高さ 373 (mm) / 容量 36L/重量 4.9kg ※2.スペアキーはトップケースのキーシリンダーと交換してください。交換することでトップとサイドの3つのケースを1つのキーで共通化できます。 ※3.2つのセキュリティロックキーは左右のボックスに共通で使用できます。			
⑤	ボルト	M6×25	4				
⑥	ワッシャ (赤)	M6	4				

**TREKKER DOLOMITI**



① DLMK サイドケース 左右

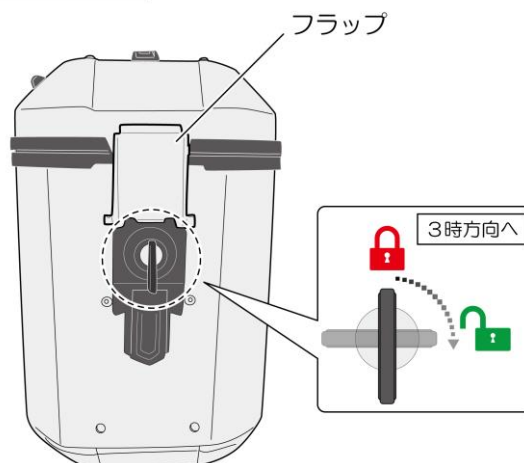


## A. ケースの蓋の開閉手順（通常開口）※蓋を閉める際は、逆の手順で行なってください。

### 01. キーロック解除

①DLM サイドケースのキーシリンダーに③セキュリティロックキーを奥までしっかり差し込み、カギを3時方向まで回し、ロックを解除します。

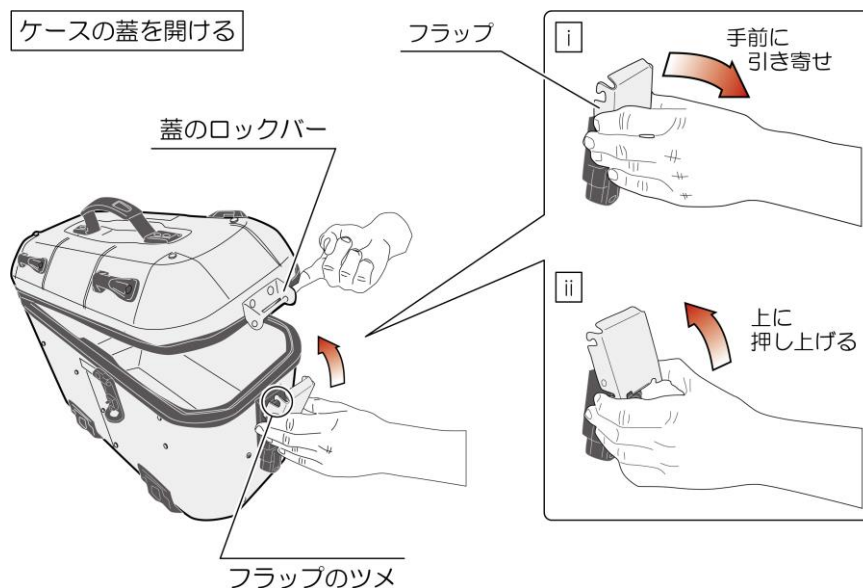
#### ケース蓋のロック解除



### 02. ケースの蓋を開ける

フラップの左右のノブを指でつまみ、フラップ下側を手前に引き寄せます。全体を上押し上げて、フラップのツメ部と蓋のロックバーとのはめあいを外し、蓋をフリーの状態にします。フラップのツメが引っかからないよう注意して蓋を開けてください。

#### ケースの蓋を開ける



### 03. ケースの蓋を閉める

蓋を閉める場合は逆の手順で行なってください。

#### ◆蓋の開口時に注意

※蓋には最大開口を制御するヒンジ部があります。蓋を勢いよく開口したり、制御範囲を超えて力を加えると、ヒンジ部の変形や破損などの不具合の原因となります。取扱いの際は十分に注意してください。

#### ◆荷物の挟み込み注意

※蓋を閉める場合は荷物が挟まれていないことを必ず確認してください。

#### ◆ロックの点検

※蓋のキーロック後は、フラップとロックバーが確実にロックされていることを必ず確認してください。

## B. 旧タイプのフィッティングステー (PL/PLR) の場合に、必要な作業です。

### 判別方法

- ・フィッティングステーのパイプ径がΦ16の場合、旧タイプ仕様になります。
- ※PLOシリーズのステーの場合は、すべて新仕様になり、本作業は不要です。次の「C. ケースをフィッティングステーに取り付け」の手順に進んでください。

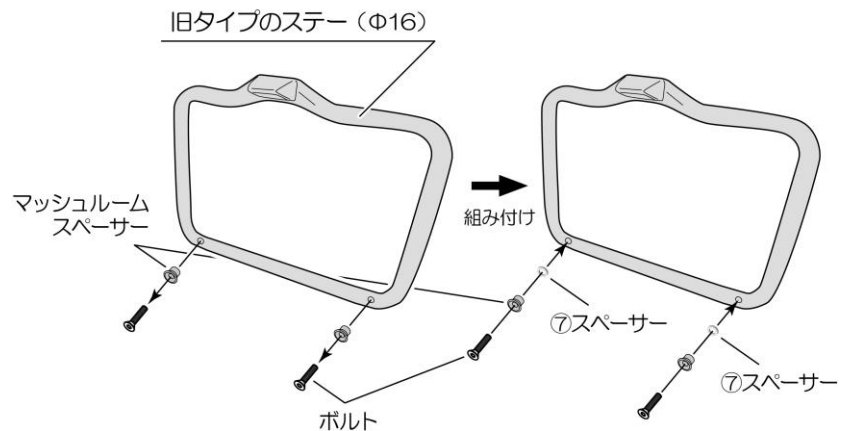
### 04. ステー下部の凸フック部の取り外し

別売品の PL/PLR フィッティングステー下側の凸フック部（ボルトとマッシュルームスペーサー）を取り外します。

### ⑦スペーサーの取り付け

### 05. ⑦スペーサーを追加

先ほど外した場所へイラストを参考に⑦スペーサーを追加し取り付け直します。



## C. ケースをフィッティングステー (PL/PLR/PLO フィッティングステー) に取り付け

### 06. ケースの向きを確認

キーシリンダーが付いている方が車両の後方側に来ます。これを基準にDLM サイドケースの左右を判別します。

**注意** ケースの取り付けや取り外しは、必ずケース内を空にしてから作業してください。

### ケースの取り付け方

ケース上部を固定する際はケース内側より手で押して確実に固定してください。

### 07. ケース蓋を開口状態にする

P03の手順O1～O2を参考にケースの蓋を開口します。

### 08. ステーとケースの下部をはめあわせ

車両側のフィッティングステー (PL/PLR/PLO) の下部にある凸フック部とケース側の下部にある凹部の2ヶ所をはめあわせします。

### 09. ケースを車両に固定する

ケース下部がしっかりとまっていることを確認します。ケース上部を「カチッ」と音がするまで差し込み、車両に固定します。

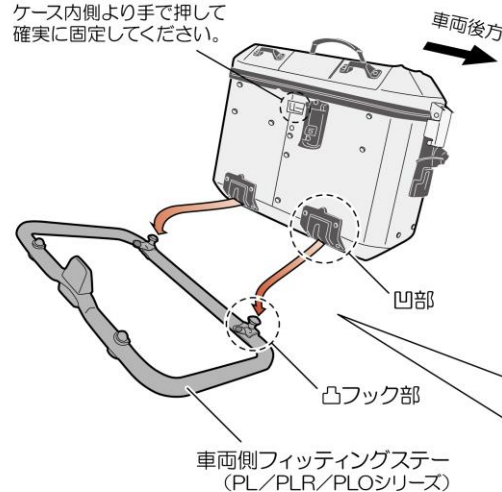
※ケース上部は、ケースの蓋を開けて内側より手で押し込み確実に固定してください。ケース外側から押して差し込むと半ロックの状態になる場合があります、脱落の原因となります。

### 10. ケースの固定状態を点検

車両を倒さないよう注意し、ケースを揺り動かして、確実に取り付けられていることを確認します。

### ◆キーを差し込んだままに注意

※必ず③セキュリティロックキーを抜いていることを確認してから、走行してください。



## D. ケースをフィッティングステーから取り外し

### 11. キーロック解除

①DLM サイドケースのキーシリンダーに③セキュリティロックキーを奥までしっかり差し込み、カギを3時方向まで回し、ロックを解除します。

#### ◆ワイヤーリリースシステム: ケースの取り外し

**WIRE RELEASE SYSTEM**

### 12. ノブを時計周りに回転

ケースを両手で支えます。キーシリンダーの下にあるノブを時計回りに回転させ、上部の凸部のロックをリリースします。

※ケースは脱落を防ぐためにも、しっかりと支えてください。

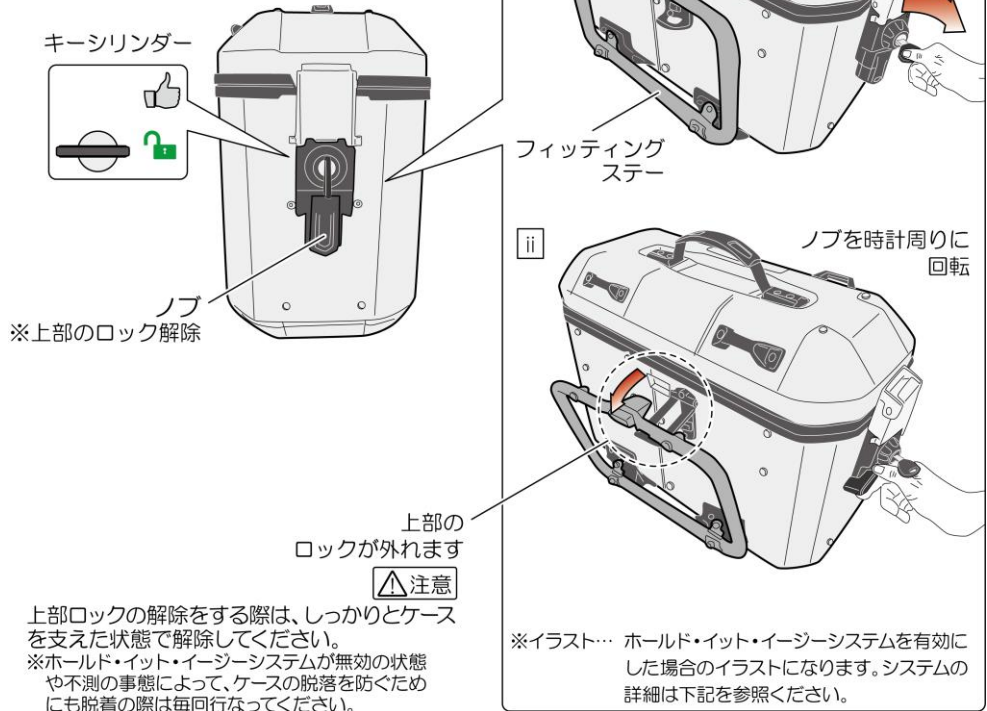
### 13. ケースがリリース

上部が外れて、ケースが斜めになります。

※ホールド・イット・イージーシステムを有効にしている場合は、この状態でホールドされます。

### 14. ケースを外す

ケースをしっかりと持ち、下側の凸フック部から引き抜きます。



## E. ホールド・イット・イージーシステムとは

●ホールド・イット・イージーシステムとは、サイドケースの上部ロックを解除し、ケースを斜めに固定しておくためのシステムになります。大きいTOP ケースが装着されていても、サイドケース本体を脱着せずに蓋の開閉を可能とし、万が一の誤操作でケースをリリースしても、ケースの落下を防ぐことができます。

※勢いよくリリースするとフックが掛からずにケースが落下する場合がございます。必ずケースを支えた状態で使用ください。

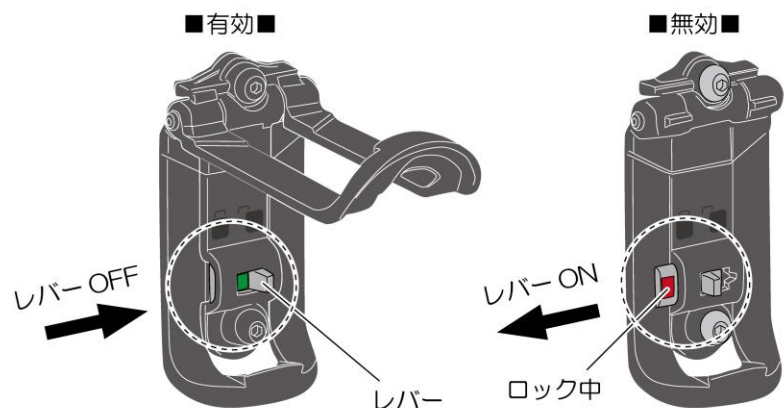
※本システムは工場出荷時に取り付けられておりません。ご使用の際は次の取り付け手順に従って取り付けしてください。

**HOLD IT EASY SYSTEM**

#### システムの「有効⇔無効」の操作方法



システム作動イメージ



・レバーをスライドさせることで機能を有効・無効に切り替えができます。  
※システムを無効にした状態でケースをリリースするとケースが落下します。  
ご注意ください。

## F. ホールド・イット・イージーシステムの取り付け

### 15. 取り付け位置の確認

ホールド・イット・イージーシステムはイラストのAとBの位置で、キーシリンダーに近い方へ取り付けします。  
 ※キーシリンダーから遠い方へ付けた場合に、フィッティングステートとシステムが干渉する場合があります。

### 16. ボルトの取り外し

手順 15 で選んだ位置のボルトを外します。

### 17. システムの取り付け

イラストを参考に④ホールド・イット・イージーシステムと⑤ボルト、⑥ワッシャ赤を使ってケースに取り付けします。

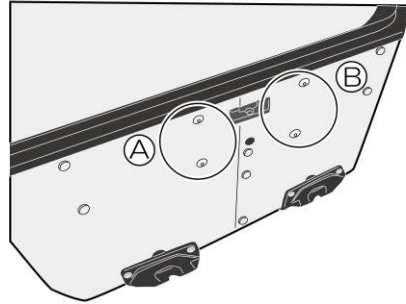
### 18. ケース上部がロックできない場合

ホールド・イット・イージーシステムがフィッティングステートに接触して、ケース上部がロックできない場合は手順 18 に進んでください。

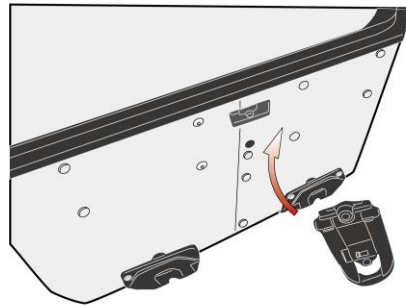
#### ⚠注意

※ホールド・イット・イージーシステムを作動させたまま、走行しないでください。ケースの脱落や事故などの原因となります。

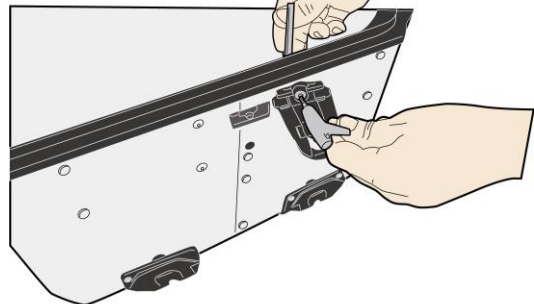
キーシリンダー側を取り外し



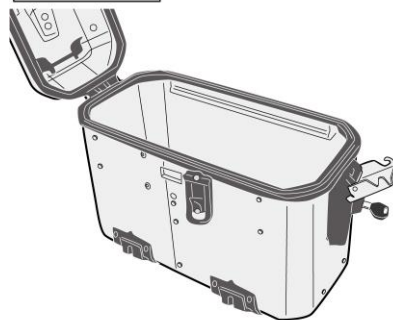
取り付け



固定



完成イメージ



## G. ホールド・イット・イージーシステムがフィッティングステーに接触し、ケースがロックできない場合

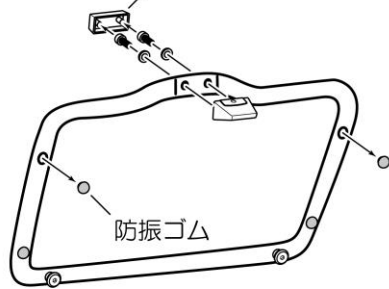
### 19. ケース上部がロックできない場合

イラストを参考にフィッティングステー上部にある凸部パーツを外します。

ケース上部がロックできない場合

取り外し

※このキャップは引っ張ると抜けます

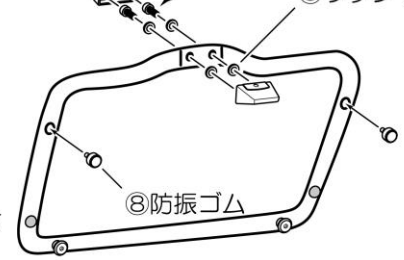


組付け

※ネジロックを塗布

⑨ワッシャ

→  
部品の  
組み付け



### 20. ワッシャを追加

手順 19 で外した場所に⑨ワッシャを追加し、取り付けなおします。

※ボルトにはネジロック剤を塗布してください。

### 21. ワッシャ追加でケースと防振ゴムの間に隙間ができた場合

フィッティングステーに取り付けられている上側の防振ゴムを取り外します。

### 22. 防振ゴムを交換

手順 21 で外した場所に⑧防振ゴムを取り付けます。

## H. 点検作業

22. 各部が確実に取り付けされているか点検してください。  
異常がなければ作業は終了です。

#### ■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を持って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



#### ■保証修理のお受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



東証JASDAQ上場  
株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

<https://www.daytona.co.jp>

転載  
禁止

本取扱説明書の内容の一部、  
または全ての無断転載を禁止